





其の著者... 体系的解剖... 環瑾ヲ其全體ニ痕  
キモラサハ驅リテ往々... 行文雄渾  
モシタル如キ治ル彼ノバジロトカ英國憲法ノ如キ行文雄渾  
雷往キ水流ルノ妙... アルト共ニ動モスル舞文飛筆ノ英亦遂  
ニ奇才彼カ如キモノヲ誇ラテ点々論文的批評ノ疎影ヲ其傑  
作ニ輝射シハヲミテ英國憲法ノ始創山中ニ彷彿セトクノ感アリ  
カ如キ是レ豈ナラヤ千百中ノ索ルルモノナラシヤ蓋シ英國憲法ヲ論ルル

可憐  
不修  
ヲ古用  
トナル  
ノ如  
法律  
今人  
移居

ハ實ニ歴史家ト憲法家トノ官能ヲ備ヘ亦者ハ以テ能ク其過去ノ  
目錄表雁ソ知シ後者ハ以テ其時ト共ニ變化シ滾々トシテ流シ  
テ止マカル易捷的ノ性實ヲ吟味シ輔車相成ツテ以テ茲ニ漸ク其  
肯綮ヲ穿ツモノニシアル而シテ本領ノ如キ調査ハ殊ニ有トシテ  
之ヲ過去ノ史表事即チ歴史ニ溯回シ以テ現行法令者クハ  
之カ習慣ヲ論ルルニ非ズバ他山ノ石亦以テ玉ヲ攻ク足ニ非ル  
ナリアンソシカ大作ル英國憲法ヲ習慣中「苟モ歴史ニ溯ラズ  
能ク現行法令者クハ之カ習慣ヲ説明スルハ事實能クカニ  
ナリ... 是レ政治ノ價值ニシト叫ビタルハ亦實ニ此意ニ外ニカ  
ナリトス

テ画イテ以テ筆ヲ点スルモノナラハ動モスル則チ自家ノ亦授ク從  
テ胡蘆ヲ描クノ域アルヲ故ニ其ハ茲ニ暫ク「干涉」ナル文字ニ向  
テ下ス「**法理的定義ヲ割愛シ無難作ニ世ノ所謂「干涉」**  
ナル文字ガ會中最モ廣キ字我ニ向テ之カ意味ヲ放縱シ以テ歴  
史上ノ結論ニ及ブ比ニ敢テ其カ信スル所謂「**權上ニ對スル政府**  
ノ干涉」ナル範圍要素等凡テ本領ノ定義ニ向テ其カ土硬ノ  
私見ヲ下シ之カ事實ト論理トノ間隙ヲ存シ以テ閣下カ識別  
批評ノ州地ヲ造リ慶テ隨學人ヲ賊フ罪ヲ追ヒト敢ス  
之ヒ實ニ其カ今日滿腔ノ智ト學トノ極野ナレバナリ  
史家アリシテ著英國憲法ノ生長中手トシテ英國自由制之由來  
スル所ヲ誇稱セト為メ政史ノホキヲバツル等彼ノ忠教種族  
議院制作ノ古跡ヲ「**羅馬希臘ノ往時ニ逆回シテテ**」  
等恰モ我大日本國ノ古記旧史中「**高橋原又神集**」ニ集ル  
云々ト云ヘルカ如キ古物穿鑿的ノ好文字ヲ綴リテ主「**此歴史**  
憲法ノ發達ニ関シ其カ既ニ「**日本憲法**」ニ一篇ヲ英文ニ綴リ

英國國會(今春)中學生ブライス氏并ニ自由黨ノ各士ヨリ「**此時**  
正サトシ既ニ脱稿シタル此時會ニ先ノ日本均國法律顧問官ビ  
ツト氏カ同一ノ物ニ其前提文ヲ改日舊刊セル重價四時評  
論ニ掲載シタル如キ如何ナル結論ヲ其自作ニ与ルヤ其今日之  
ヲ前言スル「**能ハルモ既判ノ分ハ既ニ之ヲ日本ニテ新編雜誌**  
中ニ郵送シタリキサハ其カ起草ノ日本憲法ナル英文ハ東ネテ

日本憲法ニ對シ







シテ得失ノ影響甚大直ニ以テ國會上改權ノ消長ヲ變スノ勢ト化スル  
中其今日迄ハ陰謀先所備撰挙ヲ沙ノ方針ニ變テテ方別  
ノ干渉トナリ國王貴族ヨリ大小官吏凡テ一議員カモ巳レノ政府  
高宗官ノ内意ヲ奉テ不正撰挙ノ議更テ出シタルガ如キ  
ノ朝(テボシ知事)必ズモ希有ノ例証ニテラサレリ  
ノ見(テボシ知事)蓋シ當時ノ撰挙手續ハモハ最モ流弊ノ極ニシ  
ノミテ地方長官ノ意思接言ニテ政府ノ内閣カモハ直ニ其  
今其事實ヲ述ベシラカスルニ王朝ノ時不謂地方長官カモハ  
集狀ヲ此長官ニ宛テ頒布シ郡縣ヨリハ二市ノ所城邑ヨリハ  
各二市民ヲ撰出シタル手續ニ依リシ其郡縣市町城邑共ニ  
撰定先撰挙區ニテハ此レバ長官ハ其欲スル区内ニ向テ之カ  
撰挙ヲ指名シテ之カモハ至バ小官ノ治下ニハ郡縣モ市町モ  
城邑モモモモ候下彼年ニテ以テ一名ノ代議士カモ撰出シシメサル  
撰挙区ナリモ否好シ撰出シタルカモ撰挙人ノ選出今自ノ如ク

公尊夫人カ其夫ニ意ヲ承ケテジヨシ其カ撰挙人ヲ余カ勸誘シ  
タルカ如キ者ハ當時ノ地方長官ナルモカ國王ノ命令ハ政府ニ奉仕元  
高宗官ノ内意ヲ奉テ不正撰挙ノ議更テ出シタルガ如キ  
ノ朝(テボシ知事)必ズモ希有ノ例証ニテラサレリ  
ノ見(テボシ知事)蓋シ當時ノ撰挙手續ハモハ最モ流弊ノ極ニシ  
ノミテ地方長官ノ意思接言ニテ政府ノ内閣カモハ直ニ其  
今其事實ヲ述ベシラカスルニ王朝ノ時不謂地方長官カモハ  
集狀ヲ此長官ニ宛テ頒布シ郡縣ヨリハ二市ノ所城邑ヨリハ  
各二市民ヲ撰出シタル手續ニ依リシ其郡縣市町城邑共ニ  
撰定先撰挙區ニテハ此レバ長官ハ其欲スル区内ニ向テ之カ  
撰挙ヲ指名シテ之カモハ至バ小官ノ治下ニハ郡縣モ市町モ  
城邑モモモモ候下彼年ニテ以テ一名ノ代議士カモ撰出シシメサル  
撰挙区ナリモ否好シ撰出シタルカモ撰挙人ノ選出今自ノ如ク

一、長官ノ指名モシモ

一定シタルニ非バ其投票數ニ制限ノ有ルベキ者モク一言スレバ  
國會議員ノ候補者タルモハ一長官ノ一筆ヲ受テ從テ其筆厚  
ヲ分クシテト斷言シ得ズナリ左ニ之カ實際方法ヲ指摘スル通例  
一、長官ノ指名モシモ  
二、否シテハ長官ノ認可ヲ得ルモ  
三種ニシテ未ダ後述スル公選ノ始見威ノ併示等ハ行ハレサレリ  
先ニ於テキチ四〇〇六(續)并ニ千四百四十五年共ニ條例ヲ以テ長官カ  
偽造撰出ノ流弊ノ制限シ(是ヨリ先キ千三百三十五年我生自)ノ將議員撰挙  
リ)撰挙上ノ手續并ニ地方長官ノ對全(類)ノ(類)等ヲ一定  
スルノ上ニ於テ是レリキ、ソモ此ニ及テ英國憲法史上特筆大書スルハ  
彼ノ國會特權中撰挙區裁決權 (The right of the Commons to  
determine constituents elections)ノ起源ナリトス蓋シ此ヨリ先キ英  
國下院ハ其正當ノ議員ノ撰挙動モスレバ黑白其所以失フヲ嘆ジ  
千三百八十四年(後述)トドモ長官ノ偽造撰出事件起ルヤ此  
判決ハ後述スル之ヲ國會中ニ開クベシト時ノ國王并ニ貴族議員カ請

假シテ其地方長官ヲ處罰シ此時ヨリ撰挙區裁決權ヲ決權ナル  
特權ハ宜シク國會ニ屬スルモノナリトノ議論起リタルモ千四百三十九年  
(後述)カ外リカ巨地方長官偽造撰出事件ノ如キハ單ニ國王ト  
貴族トノ才決スル所トナリ其特權ノ權限ルモノ施テアリカス女  
后ノ時宇ニ及ビタリ(此ヨリ三百三十五年)英國政府ト  
下議院トハ一ニ此特權ノ所屬論ニ向テ各々相讓ル所ナリ今ニ改



彼ノ國會特權中、撰挙例或裁決權 (The rights of the Commons to determine certain elections) ノ起原アリトス蓋シ此ヨリ先キ英國下院ハ其正当ナル議員ノ撰挙動モ之ニ黒白其所以失フヲ嘆ジ  
 千三百八十四年 (後魯朝) ドロイト長官ノ偽造撰出事件起ルヤ此  
 判決ハ須ラシ之ヲ國會中ニ開ルベシト。時ノ國王亦、貴族議員ノ請

敢シテ其地方長官ヲ處罰シ此時ヨリ撰挙例或裁決權ナル  
 特權ハ宜シク國會ニ屬スヘキモノナリトノ議論起リルモ千四百三十九年  
 (後魯朝) カナリ以テ巨地方長官偽造撰出事件ノ如キハ單ニ國王ト  
 貴族トノ才決スル所トナリ其特權ノ權限ルモノ施テアリカス女  
 后ノ時宇ニ及ビタリ (後魯朝) 此間三百零九年魯王ハ英國政府ト  
 下議院トハ一ニ此特權ノ所屬論ニ向テ各々相讓ル所ナリ一令ニ改  
 ゼルハ又世ノ如クハ千六百零四年 (魯朝) 頃ニ於テハ特權ハ魯王  
 ノ專ニ與リテスルモノト撰挙例或裁決權上王意思即々時ノ政府ニ達スル才  
 決ヲ為スカラスト道斷言シ司法官更ハ從テ此才決權ハ通事  
 司法ノ範圍中ニ入ルキモノナリト下議院ハ之ニ及ビテ撰挙  
 調査委員ヲ設ケ一上下各相讓ラズ現ニ千七百零二年 (魯朝)  
 ノ時又亦此特權例ノ再治ヲ生スルニ至リキル所ナリ下院ハ  
 千六百零二年、千六百零九年、千七百零二年及ビ千七百零三年等前後  
 ノ判決例若クハ條例等ニ依テ之カ特權中ノ一要素ナルヲ確定  
 スルニ至リタル鳴呼誰カ知ラシ白日ノ下大蛇アリ下院カ此撰挙

例或裁決ノ特權ヲ有スル共、汝等四出遊、其病ヲ治スルノ藥  
 劑ハ會ニ以テ身ヲ殺スル毒石トナリタル之ノ聯カキセサルカラスル見ヨ  
 一切ノ英國歴史若クハ之カ憲法史ニテモ其何人ノ筆ニ成リタルモ係ハラス  
 十八世紀ノ末代ニ至ルテ英國下院カ此特權ノ濫用ヨリシテ 神聖  
 撰挙權ノ自由ヲ珍歎シ如何モ判決シテモ其權限例ニ關スルハ  
 一ニ下院ノ特權トシテ何人モ之カ寛枉ヲ爲カシ路ナリ甚カシキハ一  
 院議員ノ免ヲ殺スルモ其泉水ニ石ヲ投セシモ其國外ノ一樹ヲ傷ビシ  
 モノモ一特權ノ毀損ナリト可決スル重リ其弊ヲ撰挙例或裁決  
 事件ハ亦事案ノ下邪ノ治理ノ可否ヲ論ズル凡テ其首自党ニ屬スル  
 議員ニ向テ偏頗ノ裁結ヲ為シ難ク以テ多數議決ト登録シ流  
 是ト實ニ下院カ有セシ撰挙例或裁決ノ特權ニ對スル小序更ナル事  
 以テケリガ其著英國十八世紀史中此特權ノ濫用昂々議合、党  
 派ニテ撰挙例或裁決ノ通弊ヲ論ジ其証トシテ時ノ政治家  
 ジョージ・グレビルノ痛評ヲ引例シ「下院カ其何人モ多ク聞ハズ多數  
 受決ニ屬スル議員ニ向テ与ル所、彼ノ憎悪ナル臺演ハ今ニシテ

之ヲ禁ズルハ遂ニ社會公衆ノ自由ヲシテ墜落セシムルモノナリト完結  
 シタルハ誠ニ能ク當時ノ狀態ヲ描写シタルモノト云ヘキナリサレバ千  
 八百六十八年 (魯朝) 英國今若クハ時ニ當テ此撰挙例或裁決  
 ノ特權ナルモノハ「撰挙權及腐敗條例」ノ為ニ再ビ下院所屬  
 ヲ脱シ高等法院 (High Courts of Justice) 中衡早局 (McLynn's Pleas  
 Division) ノ裁決スル所トナリ判事ハ之カ事實審判ノ終末ヲ下院



議決ニ向テ偏頗ノ裁結ヲ為シ頼テ以テ多數議決ト登録ス  
是ノ定ニ下院カ有セシ撰挙法才決ノ特權ニ對テ小冊更ナルヲ  
以テケリケ其著英國ナ八世紀史中此特權ノ濫用昂ク議會ノ党  
派ヲ撰挙同級ヲ議決スル通弊ヲ論ジ其証トシテ時ノ政治家  
ジョージ・クレムルノ痛諄ヲ引例シ「下院カ其何人多ク同公單多數  
派派ニ屬ス議決ニ向テ与ル所ノ彼ノ權限ナル憲法ハ今ニシテ

之ヲ禁セズバ遂ニ社會公衆ノ自由ヲシテ墜落セシルモノナリ」ト完結  
シタルハ誠ニ能ク當時ノ狀態ヲ描寫シタルモノト云ヘキナリサレバ今  
八百六十八年(紀) 英國今昔ノ時ニ當テ此撰挙法才決  
ノ特權ナルモノ「撰挙法及舊收條例」ノ為ニ再ビ下院所屬  
ヲ脱シ高等法院(Mulholland's Justice)中衛平局(McDonnell's  
Division)ノ裁決スル所トナリ判事ハ之カ事實審判ノ起末ヲ下院  
議長ニ報告シ下院ハ之向テ其曾テ撰挙セシ調査委員ノ報告  
ニ對スルガ如ク同一ナル最後ノ才決ヲ下スル所ナリ若我上特權其  
モノニ重テ依然トシテ下院ニ屬スモ其カ實際上ノ結果ニ至テハ又ニ  
英國普通法ノ學ハ所トナルハ蓋シクイシカガ其英國ノ憲法  
ヲ評シテ「漸進的進步」云ハル新語ノ「通例」ニ非ルナキヲ  
得ニヤ(一) 憲法史 三二頁  
叙事更ニ以前ニ溯リ英國政府カ其下院議員撰挙干渉ノ  
起末ヲ報セシ蓋シ當時地方長官カ撰挙權正スルハ公私共ニ時  
急ニ問題トナシ四百三十年(我皇德川)遂ニ彼ノ撰挙人ノ資格

一七五七年

ヲ一定スル為メ世ニ称スルニ確自由民(一) 一七五七年(内政)ナル一條例ヲ定シ  
漸次地籍官ノ積弊ヲ匡濟シ全四十五年(我皇嘉永)ニ更ニ二種  
ノ新資格條例ヲ布テ以テ該選免モノノ格式ヲ一定スル所ナリ  
財產資格ト共ニ議選免モノハ名族ノ士流若クハ良家ノ善  
民ニ限ル所ト定スルハ蓋シ當時ノ政府ナルモ巧ニ時弊ニ乘リテ  
以テ撰挙干渉ノ要路ヲ閉キタルモノナリ何トナシバ當時ノ  
下院議員ナルモノハ素アリ実ニ英國公衆ノ代表者ニ非ズレバ地方長  
官ノ尤尤スル所トナリ以テ時ノ政府ヲ盲助スルモノナリ合ニ輿論  
ニ制セラレテ以テ以上ノ二條例ヲ發行シタルモ其実は唯薪ヲ以テ  
火ヲ消サントスルモノニテ蓋シ前條例ハ皆撰挙權ノ區域ヲ極小ニシ  
後條例ハ以テ英國地主ノ外一切下院議員タルノ資格ヲ奪ヒタルモノ  
ナレバナリ(一) 憲法史 三三頁是ノ如ク其弊ヲ更ニ撰挙權ノ要路ヲ  
前段提議カ賄賂ヲ賜フ意ヲ一切政治上ノ腐敗ナルモノ  
英國議會ヲ澄盪シ其極實ニ今八百五十八年(我皇安永)ノ最  
今ニ及バリ以テ先ニラニグミド代カ其憲法史中此二條例ヲ評シ英

國ノ政治上ノ腐敗ハ實ニハシリ一六世紀カ極小セル撰挙區為メ一  
切之カ地長ノ便利ヲ与ヘタリト論シタルハ是ノ實ニ通評ニ非  
ズナリト云フ身位(一) 憲法史 三三頁ト共ニ英國政府ハ更ニ有力ナル  
撰挙干渉ノ新法ヲ數々タリシモ一七七一(我皇享和)ノ昭ニ至テ  
所謂「國王」帝所行自治條約ニ國王ノ許ス所トナリ而シテ此自  
治條約ニ各々下院議員撰出ノ權アルト共ニ國王ハ先ニ其意見  
ニ采リテ議決スルモノト自前ニ斯ク其自治條約ノ市長若クハ參事員







干渉  
英  
政策  
トナリ

投票之カラスト要請シタル人若モ其通例ヲ求メテ其材料ヲ備ヘ居リ  
一ニ英國史ヲ編クニ歴史ハ實ニ之ガ緋々タル材料ヲ備ヘ居リ  
斯クシテ英國政府ノ撰者ヲシテハ十四五世紀ヨリテ公認ナル政治上  
ノ一筆畧ナリラカスルヨリク今キエドルニ至ルテ各王朝編々トシテ  
益々其法弊ヲ極メ遂ニ最近キハ古キ事(戦嘉永系)彼有各ナル  
撰者及正例ノ善行也元、近ハ殆ド其底止スルヲ知ラザリキ今存  
年代ヲ追テ以テ之ガ著名ナル通例ヲ繕述スルニ先ガテ敢テ其カ私

見テ附記シテ歴史之上ガ積弊ニ関スル前後ノ關係ヲ論評セ  
情々古今ノ代議政体ナルモノヲ察スルニ其禍福ノ相伏スル恰モ是レ糾  
ヘル繩ノ如ク一利一害誠ニ容易ニ論クカサレモノアリナレト一言以テ  
之ヲ覆ヘハ益シテ代議政体ノ微妙ナルモハ唯夫レ撰者權ノ神聖  
ニシテ勢利ノ以テ犯ス丁能ハサルアリト斷言スルハ最モ能ク古今著  
ノ神髓ヲ消化シ先モト云フニ(戦嘉永系)顧テ吾人文明ノ程度未カ全  
ク理想ノ真境ニ達セズトシテ心波情海動モスル人生普通ノ感情ニ  
支配セラレ以テ天有爛熳花正理ニ遠シ尚ハ滔々タル天下翻ツ  
シテ理想上神聖犯ス(カサレモノ)ナリト揚言スル所ノ權我ヲ顧ルモノ果シ  
テ或何ソ片ノ落美、曉天ノ霜月尚且ツ其感情ヲ左右スル世ノ  
動物ガ能ク富貴貧賤ノ外ニ卓励シテ以テ自己ノ權我ト討犯スル  
カ如キハ素ヲ實ニ人事ノ實際ニ於テ容易ニ希圖シ得カサレリト  
故ニ極言スル以テ人生ノ感情ヲ歎モスルハ別ク遠敏叙記セ撰者  
干渉ノ上キ第一ニ之ガ醜汚ノ先達トナリ、愛ルモノトバ買フモノトナリ  
淫ノ第一ニテ、落毛流水相招キ相誘フ、嗚呼誰カ能ク鳥、雌雄ヲ

并ビシ、赤キトシテ狐ニ匪ルハ莫ク黒キトシテ鳥ニ匪ルハナシ、若シ撰者  
人ニシテ他人ノ撰者權ヲ侵犯シタルヲ以テ一ノ犯罪トナバ自ラ好シ  
以テ其撰者權ヲ侵犯セシレモノモ亦實ニ一ノ犯罪ニ非ズヤ、撰言モバ  
代議政体ノ治下ニ至リテ撰者權ノ神聖ナル所以ハ撰者其社  
會文明ノ幼稚ニテ被撰人撰者人共ニ俱寄セル供儀ノ過失ヨリ  
まシル其國文野ノ及下見ガレカサレリアルニトド氏カ英國  
議院政治中彼ノ有名ナル腐敗内閣ノ首相タルボイル氏ノ一段中  
議員撰者ノ腐敗ハ草唯内閣ニ是レ駭評スヘケヤ之ガ腐敗ヲ  
招キタル撰者人亦其ノ之ガ概然ヲ分擔サレバカキ論決シタルハ  
一回當時ノ大勢ヲ看破シタル歴史の公平ノ批評ト云ハルベク  
夫レ始リ是レ下院議員ノ撰者ニ關シテ英國政府ノ干渉問題、如  
キ中世ヨリテ軟今ニ及ブ(今ト云フニ亦實ニ之有)其日ノ所謂下院代議  
士ルモノハ王、妃、宰相、見人、地主等凡テ時世ニ勢力アルモノ、手  
干渉否自製スルヲ以テ社会公衆ノ代表者ナリト公言セタルモノ  
其カ其カ其投票ノ愛憎、極リニ正直ナルハ愛憎其ト拒絶セリ

カ如キ實ニ一國ノ代議者ヲ以テ金多ト同物同價(Quid pro quo)視  
スルニ至レルモ分人往々ナリキ嗚呼源泉先ツ清クシテ末流滋ニ始テ澄ム  
代議政体ノ其國文野ノ程度ト密接ノ關係見亦實ニ猛有者カカサレ  
ヘニ否耶

アソリトハ英國史者ハ近日著刊凡カレテ代議英國國會撰者史ヲ  
讀ミシモノハ撰者「政府干渉」ノ英國撰者ノ及ヒシ百鬼怪行ノ治文字  
ヲ志シタル也、今右ニ之ガ著明ナル例ヲ指摘スル再ニ歴史上左ニ或























